ＯＢだより

第39号

発行
京都外国語大学
能楽部ＯＢ会
事務局・広報部

橋本礒道先生・還暦お祝い

鳥羽旅行

（S60A）三谷直樹
（事務局・企画部長）

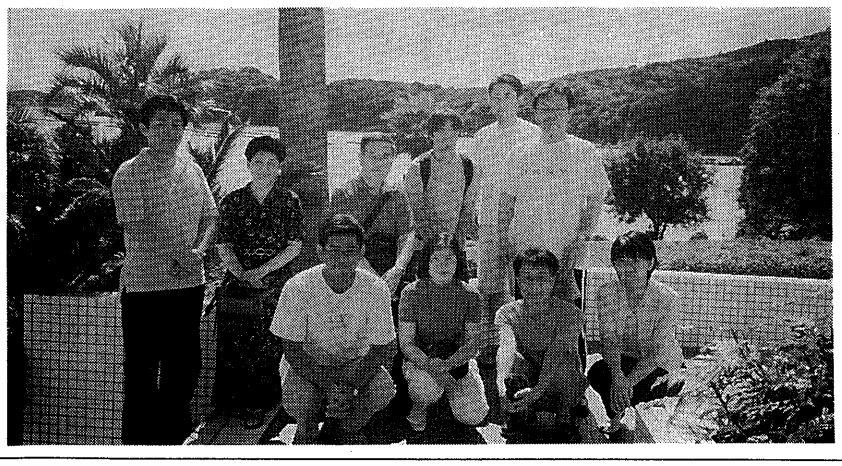
夏空の広がる八月十日、京都でのＯＢ総会を終えられた一行が、鳥羽駅に降り立たれたのは午後二時半頃でした。この旅行を企画した私の隣には、すでに別の電車で到着していた田中さん（旧姓家田さん）と宮崎くんが今か今かと、そのときをお待ちしておりました。

汗を拭きながらも笑顔の橋本礒道先生に続き、忠樹先生、奥様、島谷さん、奥田さん、そして藤原敏起さんが楽しそうにお話をしながらおみえになるのを見て、この旅行がこれから本当に楽しい、思い出深いものになる予感がしました。

今回はこれまで京都外大能楽部に格別な情熱と限りない愛情を注いでくださっている我らが橋本礒道先生の還暦のお祝いをいつもと違う形でと、無理を承知でこの企画をさせていただきました。夏休みという繁忙期であるため、ホテルの確保もままならない状況下でありましたが、「鳥羽の陽光きらめく海を眺めながら素敵な思い出にしたい」という気持ちからの提案でした。

夕食を遅めに予約してあったのでまずは部屋でくつろいで頂いて……と思いきや、せっかくだからビールを飲みながら先生とお話をということで、早くも盛り上がりを見せました。ここで先生お気に入りのサッポロ黒ラベルを買ってきていない企画部長である私のミスにも先生は笑顔で「いいんだよ」と言わんばかりに、次々と冷蔵庫の黒ラベルを空にしていかれました。現役時代の昔話から能楽談義に至るまで、時間を気にせずゆっくりと話ができるなんて「ホント幸せ！」などと思いながら夕方の時間を楽しみました。大阪での仕事をサボって、いや片づけて増田君も参加し楽しく過ごしましたが夕食までにお腹が一杯になってはということで、一旦ここでお開きにして、元男子部員は、そろってスパ「テルメゾン」に向かいました。

ほろ酔い気分で露天風呂に浸かりながら久々に顔を合わせるＯＢの皆さんから、「合宿みたいでこれエエわ！」と至福の表情で言っていただきホッと胸をなで下ろす私も全く同じ思いでした。ジャグジー、打たせ湯などに浸り、日頃の疲れを洗い流していると気づけばもう夕食の時間。大慌てで着替えて部屋に向かいました。時間ギリギリで走っている私たちとは対照的に、先生はお着替えも済まさ



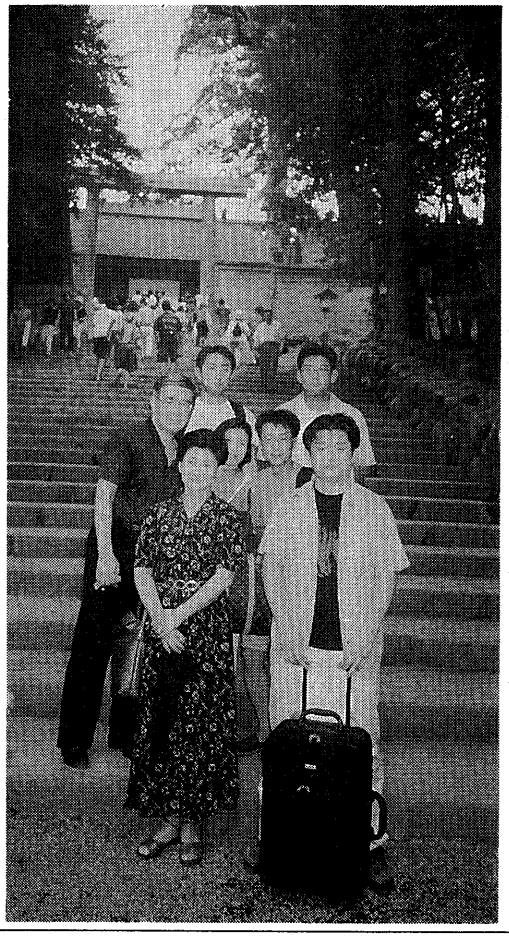
れ準備万端。夕食は和食の懐石を用意させていただきましたが、お祝いの席と言うことでシャンパン『モエ・シャンドン』で乾杯をしました。島谷会長からのお祝いの言葉に一同いたく感激。北海道の東舘さん（旧姓前口さん）からの「くまのプーさん電報」にもビックリしました。海の幸に舌鼓を打ちながら酌み交わすビールや清酒に皆さんいつも以上にリラックスのご様子で、本当に和やかな楽しい時間が流れました。アッという間に時計は十時をすぎ、お開きの時間になりました。先生からは今回の旅行に対しての過分なお言葉と記念品を頂いたあと、アッと驚くプレゼントがあったのです。観世流で奥義を究めた後に伝授されると言う秘密のお謡を謡って下さいました。一同神妙に聞き入っていると「???」という部分に、忠樹先生、奥様もなにやらクスクス笑っていらっしゃるご様子。「皆さんの目を閉じて神妙な面もちが可笑しくて。」と、奥様。さすが礒道先生、粋なプレゼントに皆さん大満足の表情を記念写真に収めて頂きました。

翌朝も良く晴れ、朝食のバイキング会場でもビール瓶が並ぶ、究極のリゾート気分!を堪能しました。食後には朝日の輝くテラスで集合写真をとり、チェックアウトしてホテルを出発しました。「よろしければお伊勢さんまで足を伸ばしませんか」という企画部からの提案に猛暑の中、一行は普通電車で近鉄五十鈴川駅へ。そしてそこからまた三交バスで内宮前へ移動し、人々でごった返すおかげ横丁へ向かいました。五十鈴川沿いにあるレトロな雰囲気のある「川端や」というお店で、鳥羽の珍味である「ふかの干物」を使ったさめのたれのお茶漬けや、干物などを肴にまたビールがすすみます。先生御馳走さまでした。

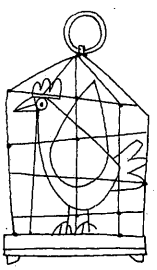
お腹も心も十分に満たされたあとは、きっちりと「お伊勢詣で」を務めるのはさすが、能楽部。皆様のご活躍とご健康をお祈りしました。当然、現役たちの活躍もお願いしましたよ。皆さんやや千鳥足だったのは秘密ですが・・・。また夏の定番、伊勢赤福で赤福氷を先生に再び御馳走になったあと、一行は宇治山田駅にバスで向かい、後ろ髪引かれる思いでしたが各自帰途につかれました。

暑い中、鳥羽までご足労願っての旅行でしたが、参加いただいた皆さんには笑顔の絶えない素敵な時間を共有頂けたことを心から嬉しく思うと共に、今回ご都合がつかずに参加出来なかった方々へ「本当に楽しかったですよ！次回は是非に。」と紙面でお伝えできれと思って筆を執りました。

最後になりましたが、**「橋本礒道先生、本当におめでとうございます。これからも能楽部を見守り、ご指導ください」**と皆の気持ちを代弁して、鳥羽旅行の報告を終わります。



〈伊勢神宮にて〉



新ＯＢ会員紹介

★年度代議員
（五十音順）

（平成十四年度）

杉森伸子



会員No.１２０

今年三月、英米語学過科を卒業しました杉森伸子です。卒業してはや半年。能楽部のＯＧとなった実感を持たぬまま過ごしていましたが、つい先日、福井での夏合宿に参加し、現役のみんなが外大能に向けて真剣に各自の曲にとり組んでいる姿を見て、今まであった自分の居場所がなくなったことに少しさみしさを感じながらも、後輩達の成長ぶりに感心して、自分がＯＧであることを改めて実感しました。

今後はＯＧとして能楽部に少しでも力添えできればと思います。これからも宜しくお願い致します。

（会計局）

★須田啓子



会員No.１２１

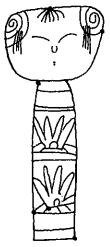
今年ＯＢ会に入会しました須田啓子です。よろしくお願い致します。

私は今、信州で四季折々の自然の美しさを感じ、楽しみながら生活しています。卒業後間もなく仕事を始めましたので、新しい生活と仕事に慣れるため、毎日忙しくしてきましたが、最近ようやく色々なことに目を向けることができるようになりました。

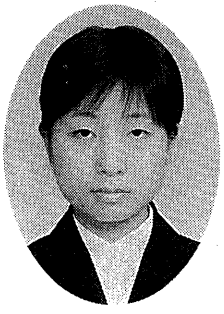
学生時代のことを振り返り思い出しますとそのほとんどが能楽部での想い出です。嬉しかったことや楽しかったことはもちろん、悩んだことや失敗したことも含めて、どんな小さな出来事も私にとってとても大切な宝物です。このクラブで多くの素晴らしい方々と出会えたこと、そして卒業後もずっとつながりを持てることを嬉しく思います。

十二月十四日（土）。ＯＧになって初めての外大能を迎えます。去年までとは少し違う外大能ですが、現役の頃と同じ気持ちでいたいです。今から大変楽しみにしています。

（事務局・会員登録部）



関桂子



会員No.１２２

今年卒業しました中国語学科の関桂子と申します。

卒業年度の第三十八回外大能では、能楽『海士』で子方をつとめさせていただきました。

シテにＯＧの島谷先輩、地謡に先生方、ＯＢの先輩と現役が共に舞台に立つという、非常に貴重な機会に自分も参加できました事は、今でも私にとって素晴らしい思い出となっております。現役の時に様々な場面で、お忙しい中親身になって助けて下さった多くのＯＢ、ＯＧの先輩方への感謝の気持ちを、これから自分なりにお返ししていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

（会計局）

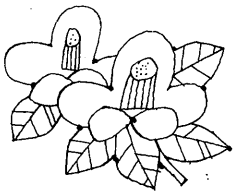
平成十四年度 総会

決議事項

去る八月十日開催のＯＢ総会にて次の事項が協議され、承認されました。（いずれも会則改定付記扱い）

1　副会長ポストについて
・現在の二名制より一名制とする。

2　会計年度の変更について
・会計年度は通年四月一日から三月三十一日とする。



各局連絡板

事務局

●事務局

事務局長　藤原敏起

○会員登録部
○企画部
○広報部
○郵送部

会計局

●会計局

会計局長　福井玲子

※事務局の住所が変更になりました。

次号のお知らせ

▽**事務局長挨拶**
▽ＯＢ会員ニュース
▽第40回記念外大能　開催
▽新ＯＢ会員　紹介
（平成15年度卒業生）
・ＯＢだより第40号は、次年10月1日発行予定です。

会費納入のお願い

平成14年度ＯＢ会費納入がお済みでない方は、至急お振り込みをお願いします。

一般会員　　8　千　円
夫婦会員　　1万2千円（2名分）

前年度分まで未納の方は本年度分とあわせてお振り込み下さいますようお願い申し上げます。

〔振込先〕
◆郵便口座　00280－1－52076
加入者名　京都外国語大学
能楽部ＯＢ会

※ＯＢだよりは　事務局　広報部が
作成しています。
≪ＯＢだより第39号≫
◎編集責任者
角　孟典
（宮崎正人）
（石水真理）
◎発行責任者
島谷直美